



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 東都水産株式会社

上場取引所 東

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関本 吉成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 江原 恒

TEL 03-3541-5468

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	97,133	0.4	1,397	303.9	1,514	281.1	1,165	249.4
25年3月期第3四半期	96,725	△4.0	345	△50.3	397	△50.4	333	△50.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,601百万円 (230.4%) 25年3月期第3四半期 484百万円 (63.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	29.29	—
25年3月期第3四半期	8.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第3四半期	28,701	—	11,295	—	39.4	283.84
25年3月期	24,881	—	9,774	—	39.3	245.57

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 11,295百万円 25年3月期 9,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△3.1	1,000	768.0	1,250	519.0	900	511.9	22.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	40,260,000 株	25年3月期	40,260,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	465,089 株	25年3月期	458,097 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	39,799,038 株	25年3月期3Q	39,804,287 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和などにより回復基調で推移しました。個人消費は消費マインドの改善や雇用環境の持ち直しなどを受け堅調に推移し、公共投資や設備投資も増加基調で推移しました。

しかしながら、水産物卸売市場業界におきましては、円安の進行による消費者物価の上昇などにより、食料品への低価格・節約志向は依然根強く、加えて市場外流通の増加、水産資源の減少、放射能汚染による出荷制限など、引き続き厳しい事業環境で推移しました。

このような状況のなか当社グループは、消費者の皆様にご納得いただける安全・安心でおいしい商品をご提供できますよう、集荷・販売の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、主たる事業である水産物卸売事業の売上は僅かに減少しましたが、冷蔵倉庫及びその関連事業の売上が好調で、前年同期と比べ0.4%増加の97,133百万円となりました。売上原価の節減による売上総利益率の向上、貸倒引当金繰入額の減少、販売諸経費や人件費の削減などにより、営業利益は前年同期と比べ303.9%増加の1,397百万円、経常利益は前年同期と比べ281.1%増加の1,514百万円となりました。特別利益に東京電力(株)福島原子力発電所における事故に伴う損害賠償金として「受取損害賠償金」64百万円を計上しました結果、四半期純利益は前年同期と比べ249.4%増加の1,165百万円となりました。

セグメントの業績概況は次の通りであります。

① 水産物卸売事業

水産物卸売事業につきましては、魚価は上昇傾向にあるものの、取扱数量が減少したため、売上高は前年同期と比べ1.0%減少の88,388百万円となりました。売上原価の節減による売上総利益率の向上、貸倒引当金繰入額の減少、販売諸経費や人件費の削減などにより、営業利益は414百万円（前年同期営業損失551百万円）となりました。

② 冷蔵倉庫及びその関連事業

冷蔵倉庫及びその関連事業につきましては、水産物の製造加工が好調で、売上高は前年同期と比べ19.2%増加の8,240百万円となりました。売上高の増加に伴い、売上総利益率の低下や販売費及び一般管理費の増加がありましたが、営業利益は前年同期と比べ13.8%増加の759百万円となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、在外子会社における賃貸物件の稼働率向上や為替レートの円安基調により、売上高は前年同期と比べ1.4%増加の504百万円となりました。販売費及び一般管理費の削減に努めました結果、営業利益は前年同期と比べ6.7%増加の221百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ3,820百万円増加し、28,701百万円となりました。流動資産は3,474百万円増加し、19,796百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が3,639百万円増加したことによるものです。固定資産は345百万円増加し、8,905百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ2,299百万円増加し、17,406百万円となりました。流動負債は1,547百万円増加し、11,385百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,684百万円増加したことによるものです。固定負債は751百万円増加し、6,021百万円となりました。主な要因は、長期借入金が602百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,521百万円増加し、11,295百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.3%から39.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間までの業績の進捗状況等を勘案し、平成26年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成25年11月7日に発表いたしました平成26年3月期の通期連結業績予想との差異は以下の通りであります。

(連 結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	120,000	850	950	700	17.59
今回修正予想 (B)	120,000	1,000	1,250	900	22.61
増減額 (B - A)	0	150	300	200	—
増減率 (%)	0.0	17.6	31.6	28.6	—
前期実績 (平成25年3月期)	123,802	115	201	147	3.70

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,065	5,914
受取手形及び売掛金	7,236	10,876
商品及び製品	3,682	3,678
仕掛品	50	40
原材料及び貯蔵品	206	249
その他	206	246
貸倒引当金	△1,127	△1,207
流動資産合計	16,321	19,796
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,582	3,594
その他(純額)	2,560	2,527
有形固定資産合計	6,142	6,121
無形固定資産	545	692
投資その他の資産		
破産更生債権等	3,061	2,767
その他	1,727	1,994
貸倒引当金	△2,917	△2,671
投資その他の資産合計	1,871	2,090
固定資産合計	8,559	8,905
資産合計	24,881	28,701
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,319	5,004
短期借入金	5,260	5,332
未払法人税等	147	211
賞与引当金	56	20
その他	1,053	816
流動負債合計	9,837	11,385
固定負債		
長期借入金	2,071	2,673
退職給付引当金	1,666	1,754
資産除去債務	85	86
その他	1,446	1,506
固定負債合計	5,269	6,021
負債合計	15,107	17,406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,017	1,017
利益剰余金	5,934	7,020
自己株式	△60	△62
株主資本合計	9,267	10,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	345
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	329	329
為替換算調整勘定	△39	267
その他の包括利益累計額合計	506	942
純資産合計	9,774	11,295
負債純資産合計	24,881	28,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	96,725	97,133
売上原価	91,419	91,349
売上総利益	5,305	5,783
販売費及び一般管理費	4,959	4,386
営業利益	345	1,397
営業外収益		
受取利息	30	27
受取配当金	35	42
為替差益	—	39
通貨スワップ評価益	20	2
その他	70	54
営業外収益合計	156	166
営業外費用		
支払利息	65	44
和解金	20	—
固定資産除却損	13	—
その他	5	4
営業外費用合計	105	48
経常利益	397	1,514
特別利益		
受取損害賠償金	67	64
受取補償金	195	—
特別利益合計	263	64
税金等調整前四半期純利益	660	1,578
法人税、住民税及び事業税	314	418
法人税等調整額	12	△5
法人税等合計	326	413
少数株主損益調整前四半期純利益	333	1,165
四半期純利益	333	1,165

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	333	1,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	128
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	103	307
その他の包括利益合計	151	436
四半期包括利益	484	1,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	484	1,601
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	89,312	6,915	497	96,725	—	96,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	588	1,805	82	2,475	(2,475)	—
計	89,901	8,720	579	99,200	(2,475)	96,725
セグメント利益又は損失(△)	△551	667	207	322	23	345

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額23百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	88,388	8,240	504	97,133	—	97,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	719	1,976	87	2,783	(2,783)	—
計	89,108	10,217	591	99,917	(2,783)	97,133
セグメント利益	414	759	221	1,394	2	1,397

(注)1. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。